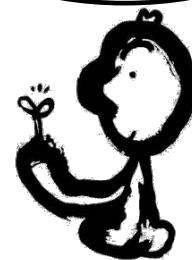


NEWS



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203(サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

通底するもの

みなさんこんにちは。昨年より審査員を務めさせていただいている山田と申します。あらゆる人が地域で共に元気に楽しく生きることができる社会を目指そうと、障害者施設の職員をしながら日々もがいています。

私は『しみん基金KOBÉ』に関わらせていただいて、「すごいな！」と感じたことが3つあります。一つは、熱い思いを抱いて地道に活動されている市民グループが、こんなにも多くあるのだと知ると同時に、その方々のお話を直接お聞きできる機会を得たことです。私は審査員という立場ですが、同時に、よりよい世の中を目指す仲間として、たくさん元気をもらうことができます。次に、公開審査という、公平性とわかりやすさを追求した審査方法です。事前の資料の読み込みや、審査当日の意識の集中による苦労はありますが、みなさんの目の前でシールを貼るときは、責任感や緊張感とともに、「ああ、この方法はいいなあ」としみじみ思いながら貼っています。三つ目が、『しみん基金KOBÉ』の理事や事務局の方々の、「市民の草の根運動が元気になるような寄付文化を創造していこう」という熱意です。市民が、自分の住む地域の活動に対して金銭的あるいは物的支援をおこない、それが住みよい街づくりにつながって、再び自分たちに返ってくる。このサイクルは素敵だな、と感じています。とかく自己中心的な意識や、他者への無関心さが目立つ現代社会ですが、大震災を経験し、人と人の結びつきや地域住民たる主体性の大切さを再確認することとなったここ神戸の地で、このような活動を積極的に展開されている方々の存在は素晴らしいと思っています。

さて、私たちの住むこの社会には、物質的豊かさの陰で、様々な困難を強いられている人びとが遍在しています。そのような人々や状況に対して、「ほっとけない」「なんとかしたい」と一歩を踏み出した様々な活動があります。困難な状況への当面の対応・支援、当事者を元気づけるイベント、中長期的な視野でのシステムの構築……。また一方では、自然との共生を目指した文化的活動や、平和運動などもあります。

しかし活動のテーマや内容は様々であれ、それらには通底するものがあるように感じています。それは現在価値があるとされているものへの問題提起なのかもしれません。そういう意味で、草の根の市民活動は、価値創造的であり、社会を変革していく可能性を大いに秘めているように感じてワクワクしています。これからも『しみん基金KOBÉ』と市民の草の根運動がもっと元気になるように、微力ですが、みなさんと一緒に歩ませていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

山田 剛司 (しみん基金・KOBÉ 審査員、
社会福祉法人えんぴつの家事務局長)

主な目次

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ◆ 平成 25 年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告 2~3 | ◆ こうべあいウォーク 2014 のご案内 ----- 5 |
| ◆ 新スタッフのご紹介 ----- 3 | ◆ しみん基金 KOBÉ 活動報告 ----- 5 |
| ◆ チャリティキャンペーンご紹介 ----- 4 | ◆ 18 年目のひとり言 ----- 6 |



平成25年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告



平成25年10月28日(月)13時～17時まで、神戸市生涯学習センター(コムスタ・こうべ)2Fセミナー室にて、平成25年度しみん基金・こうべ助成事業の公開審査会を行い、別表のとおり助成先を決定いたしました。この事業の実施にあたりましては、多くの方々の貴重なご寄付とご協力を賜りました。改めましてここに、心より御礼申し上げます。

当基金では、「市民主役の市民社会の形成」というミッションに共感頂いたひとりひとりの市民のご厚志の蓄積を基にして、10年以上にわたって地域の市民活動・ボランティア団体の事業に対して助成を行ってきました。

今年度の助成事業では、引き続き「次代の担い手の育成を重視する」という基本方針を掲げました。また、今回で3年目となる東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動に助成する特定枠を設置しました。これには、「東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金(ずっと・こころ・つなぐ基金)」へのご寄付と、ドキュメンタリー映画「禁じられた大地・フクシマ」の上映会&トークサロンへの参加者による募金が充当されています。

*

7月中旬に応募要項を公表し、7月22日から8月30日までの期間に申請受付を行いました。応募期間中に事前個別相談会を実施して、のべ25団体の皆さんにご利用頂きました。応募総数は、58件(一般枠:47件、特定枠:11件)で、昨年度より9件増えました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

その後、9月18日の当基金理事会にて書類選考を行い、19団体(一般枠:12団体、特定枠:7団体)の方々に、公開審査会でプレゼンテーションを行っていただくことになりました。

そして、10月1日から10月10日にかけて、当基金の理事等が手分けして各団体の事務所や活動場所を訪ね、ヒアリン

グ調査を実施いたしました。各審査員へは、申請書類とヒアリング調査結果報告を事前にお読み頂いた上で、公開審査会に臨んで頂きました。

*

公開審査会当日は、書類選考された18団体(1団体が欠席)の方々から、助成を受けたい事業についてプレゼンテーションを行って頂き、審査員との活発な質疑応答がありました。

すべてのプレゼンテーションが終わり、審査員による公開投票を行い、8団体(一般枠:5団体、特定枠:3団体)が助成先と決まりました。その後、同日の当基金理事会にて、公開審査会の結果のとおり、各団体の事業に対して合計2,990,000円(一般枠:1,500,000円、特定枠:1,490,000円)を助成することが承認されました。



公開審査会の様子

◆ 平成25年度 助成決定団体・事業

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		助成金額
一般枠	1	(特活)あっとオーティズム	自閉症を含む発達障がいの社会理解促進のための啓発事業	芦屋市
		ライトイットアップブルーなどの啓発活動によって自閉症理解に関心を持った人が、関心から正しい理解へと一歩進んでもらうために啓発のためのパンフレット・ピンバッチを作成し、普及に努める。	484,000	
	2	(特活)Future Code	バングラディッシュにおける看護師育成プロジェクト	神戸市中央区
		バングラディッシュ・ダカで看護師育成のため、現地病院の実態調査を実施し、それに基づいた研修を実施することで、看護師の医療技術を向上し、医療の次代の担い手のレベルアップを図る。	193,500	
	3	(特活)ウエルネスハート	中途視覚障がい者の自信と笑顔を取り戻す応援事業	明石市
		見えない人、見えにくい人、見える人の区別なく、相互理解を目的とした交流事業・個別相談を実施し、個別カウンセリングのための人材育成事業を実施する。	129,000	

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		助成金額
一般枠	4	みんなの家	おにぎり会を中心とした地域子育て支援事業	神戸市東灘区
		ひとり親家庭などの子どもを対象としたおにぎり会の開催、塾の運営と来年度の野球チーム結成を目指した活動、地域の子どもと高齢者の交流をめざした介護保険事業開設準備を実施する。		500,000
一般枠	5	日韓学生会議	第52回日韓学生会議	西宮市
		隣国である韓国と日本の学生が1週間共同生活を行い、両国間の問題をディスカッションすることで相互理解を促し、日韓関係改善に向けて少しづつでも社会に向けて発信していく。		193,500
特定枠	6	私の好きなこの街復興支援プロジェクト	東北震災遺児の心のケアを目的とする関西招待公演実施と支援交流	芦屋市
		東日本大震災で両親を亡くした遺児を関西に招待し公演を行うことで、ボランティア精神の向上と復興支援の継続に寄与する。		500,000
	7	公益財団法人神戸YWCA	神戸保養プログラム～放射能被災下の家族を対象に～	神戸市中央区
		放射能被災下にある家族が一時的に居住地を離れ、心身ともなる保養を行う。また、プログラム終了後1～2か月以内に神戸から参加者を訪問し、参加者の現状から学ぶとともに、今後の関係づくりを行う。		500,000
8	パレンティンチーム	神戸と東北をつなぎあらゆる角度から復興を目指す活動	神戸市垂水区	
	仮設住宅でのお茶会、現地の方のまちづくりワークショップの手伝い、他ボランティア団体との連携によるイベント開催などを行い、それを取材し報告することで復興に寄与する。		490,000	

◆当日ご出席頂いた審査員の皆さん(順不同・敬称略)

- 中島 淳 神戸芝居カーニバル実行委員会＝審査員長
- 森崎 清登 近畿タクシー株式会社
- 中瀬 勲 兵庫県立人と自然の博物館
- 相川 康子 (特活)NPO 政策研究所
- 河口 紅 (特活)さんぴいす
- 齋本 郁 (特活)神戸の冬を支える会
- 津久井 進 弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所
- 山田 剛司 (社福)えんぴつの家



助成先団体の皆さん

◆今年度の傾向

今年の公開審査会は、出席された審査員の講評の中でも何人かの方が言及されたのですが、申請された事業が将来にわたって波及効果が見込めるものや申請事業の実現可能性が具体的であることが重視されたのが、特徴でした。

◆しみん基金・KOB E 特別賞

平成25年度「しみん基金 KOB E 特別賞」は、当基金理事会にて審議した結果、「アジア女性自立プロジェクト」に贈呈することに決まりました。



新スタッフ紹介

6月17日から新たにしみん基金・こうべの事務局スタッフに加わるようになりました戸田香苗です。神戸生まれ、神戸育ちですが、直近は横浜の中間支援NPOで働いていました。今年になって神戸に戻ってくることができ、しみん基金・こうべでお世話になることになりました。中間支援の中でも市民ファンドに関わるのは初めてで、日々勉強させていただいています。今後ともよろしくお願ひします。



第1弾

古着チャリティに古着をご提供ください!

年末の大掃除時期などに「最近あまり着てないな～」と思う服があれば、タンスの肥やしにするより市民活動に役立てませんか? 10月より、古着をお持ちいただいた方に thanks card を、ご送付いただいた方には、お礼状をお出ししています。またオレンジスリフティ店内に、90センチ×160センチの特大ポスターを掲示させていただいて、助成した団体のご紹介もしています。ぜひ一度六甲道の古着屋さん、オレンジスリフティにお立ち寄りいただけませんか。



古着チャリティの方法

■取扱可能なもの

洋服、着物、靴、バッグ、アクセサリなど

- ※ 性別や対象年齢、シーズンなどは問いません。普段着でもOKです。
- ※ むいぐるみなども一部、取扱可能です。事前にご相談ください。
- ※ 汚れたものや破れているものは取扱できません。
- ※ 他にも取り扱い可能なものがあります。詳しくはお問い合わせください。

■ご提供の方法

1. お洗濯やクリーニングなどは、必ず済ませてください。
 2. 消えないしみや汚れ、破れのあるものは除いてください。
 3. 直接お店にご持参いただくか、宅配便にてお店へお送りください。
 4. 送付の際、「しみん基金 KOBE へのリサイクル寄付」と明記してください。
- ※ 恐れ入りますが、送料は、送り主様にてご負担ください。

◆提携店舗: オレンジスリフティ六甲店 〒657-0027 神戸市灘区永手町 3-1-208
 URL: <http://kobe-haberdashery.com/othriftyrokko/index.html> e-mail: othriftyrokko@aol.com
 TEL 078-858-7090

第2弾

1/18 「うたごころ」・「WITH」上映会で募金活動を行います!



「神戸と三陸を結ぶ映画会」が主催する上映会にて、募金活動を行います。集まった募金は「ずっと・こころ・つなぐ基金」として、次年度のしみん基金・こうべ助成事業で、東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動を対象とした「特定枠」助成金に使用します。映画を見て募金にご協力をお願いします。

- ◇日時: 2014年1月18日(土) 10:30~
- ◇場所: 兵庫県立文化体育館(小ホール)
- ◇プログラム: ①「with・・・若き女性美術作家の生涯」 ②「うたごころ」2012年版
- 10:00 開場 12:45 開場
- 10:30 上映 13:00 上映
- 11:35 榛葉健監督講演 15:00 榛葉健監督講演
- 12:00 エンディング 15:30 エンディング
- ◇参加種別と参加費 ①1,500円 ②2,000円 ①+②3,000円



映画あらすじ、申し込み方法等詳細は、同封のチラシをご覧ください!

あい こうべ人ウォーク 2014

ご案内

震災から19年の神戸を、あなたの足で歩いてみませんか？あなたの心のこもった「あい」を少し神戸のボランティア活動にわけて下さい。

1999年に第1回こうべあいウォークを開催し、第3回まで大勢の方にご参加頂きました。その後も毎年欠かさず「1.17」直近の日曜日に有志で続け、10年目の2009年より少し規模を拡大して復活いたしました。

このイベントは、震災から19年のときが経過した長田のまちをみんなで歩き巡り、まちの復興のプロセスや現状と課題を知ることを通じて、「市民社会」のあり方を次世代に伝えていくことを目的に開催しています。スタート地点での募金は、当基金を通じてNPO・ボランティア活動へ助成されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※申込予約は不要です。当日所定の時間にお集まり下さい。

【開催概要】

■主催：こうべあいウォーク2014実行委員会
(神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション、(特活)しみる基金・KOBÉ)

■開催日：2014年1月12日(日) ※雨天決行

■募 金：¥1,000～(お気持ち次第で結構です！)

■スタート：受付 9:30～10:00 随時出発

大国公園(JR 鷹取駅南東徒歩5分)

■ゴール：受付 12:00～13:30

みくら5(御蔵北公園北：高速長田駅南徒歩3分)



※全行程3～4Kmを、配布地図を参考にゴール目指して、それぞれのペースで歩いて頂きます。途中随所で案内ボランティアによる解説を聞くことができます。

しみる基金・KOBÉ 活動報告(2013年7月～2013年11月)

【イベント・講演・外部ミーティング等】

- 7月5日・23日 神戸市アドバイザー派遣事業 MTG
- 7月9日・30日 中間NPOと神戸市役所の意見交換会
- 7月12日・26日 オレンジスリフティMTG
- 7月18日 NPO 法人設立・就業サポートコース／講座「ファンドレイジング」主催：(特活)シンフォニー @尼崎、講師：江口
- 7月22日～8月30日 しみる基金 KOBÉ 助成事業・申請受付
及び、事前個別相談会(P2参照)
- 8月6日 支援先団体訪問((特活)神戸定住外国人支援センター)
- 8月20日 中間NPOと神戸市役所の意見交換会
- 8月23日 オレンジスリフティMTG
- 8月27日 シスメックスMYG
- 9月6日 CSR 調査事業(CS神戸)：住友ゴム
- 9月11日・19日 シスメックスMTG
- 9月12日 神戸市アドバイザー派遣事業 MTG
- 9月20日 オレンジスリフティMTG
- 10月1日～10月10日 しみる基金 KOBÉ 助成事業・ヒアリング調査
- 10月3日 神戸市アドバイザー派遣事業 第1回NPOステップアップ連続講座「脱・自転車操業・・・」
- 10月4日 CSR 調査事業(CS神戸)：住友ゴム
- 10月8日 コミュニティビジネス応援セミナー／講座「資金調達」
主催：(特活)シンフォニー @篠山、講師：江口
- 10月9日 大阪市NPOレベルアップ講座「選ばれる助成申請」
主催：大阪ボランティア協会 @大阪、講師：江口
- 10月11日 NPO ノウハウ移転調査事業(パブリックリソース財団)
MTG @東京
- 10月17日 中央区社会福祉協議会
- 10月25日 ひょうご中間支援団体ネットワーク会議
- 10月27日 街づくり夢基金・最終選考会 @堺、選考委員：江口
- 10月28日 しみる基金 KOBÉ 助成事業・公開審査会(P2参照)
- 11月2日 神戸市アドバイザー派遣事業 第2回NPOステップアップ連続講座「チラシづくり」
- 11月5日・13日・21日 CSR 調査事業(CS神戸)：住友ゴム
- 11月6日 しみる基金 KOBÉ 助成事業・覚書締結
- 11月7日 大阪市 NPO レベルアップ講座「知恵と工夫で寄付を集める」主催：大阪ボランティア協会 @大阪、講師：江口
- 11月13日 摂津JC例会・講演「震災寄付のゆくえ／神戸での経験・JCの役割」講師：瀬戸口、江口
- 11月15日 NPO ノウハウ移転調査事業(パブリックリソース財団)
MTG @東京
- 11月16日 支援先団体訪問((特活)神戸スポーツリンク)
- 11月26日 しみる基金 KOBÉ 助成事業・助成金交付

*

【会議】

- 7月24日 理事・審査員合同会議
- 9月18日 平成25年度第2回理事会：書類審査(P2参照)
- 10月28日 平成25年度第3回理事会(P2参照)



18年目のひとり言 ～運命の輪～



2013年を表す漢字は「輪」に決まった。日本漢字能力検定協会（京都市）が全国から募った「今年の漢字」、17万290通の応募のうち、「輪」は最多の9518通（5・59%）だったそうだ。2020年東京五輪の開催決定や、富士山の世界文化遺産登録、サッカーW杯への日本代表の出場決定など「日本中が輪になって歓喜にわいた年」であり、台風など相次ぐ自然災害にも支援の輪が広がったことなどが理由に挙げられている。

タロットカードの占いに「運命の輪」という1枚のカードがある。このカードの意味するところは、周期や運命。回避出来ない運命的な事件や変化の到来を表している。運命は自らが望んでいることだけではなく、望まないことも連れて来てしまう場合もあり、それらを受け入れる心構えが必要といった意味合いを含んでいる。つまり、良い方向だけではなく、望んでいない方向へ進んでしまう可能性もあるということだ。

果たして、2013年が私たちの望んだ、良い年であったかどうか？私たちの周りで起こった出来事をもう一度、じっくりと考えてみる必要があるように思える。私たちの気がつかない所で、運命の針が思わぬ方向を向いていないかを確認しておいた方が良さそうな気がする。

しみん基金・KOBÉ 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人 37名 団体 4団体

◆賛助会員 個人 39名 団体 11団体

(2013年11月末現在)

◆新規賛助会員一覧（敬称略・順不同）

草地 とし子、みんなの家、(財)敬愛まちづくり財団、
(特活) プール・ボランティア、(株)マイ・ファーム、他
匿名希望1名

◆寄付・募金合計金額 1,165,550円

◆寄付者・募金一覧（敬称略・順不同）

溝口 幸子、井上 由紀子、中谷 豊、宇都 幸子、
瀬戸口 延恵、山口 一史、島田 誠、山田 剛司
中島 秀男、飛田 雄一、オレンジスリフティ
(財)敬愛まちづくり財団

(2013年8月～11月)

※皆様方からの貴重なご厚志に深謝申し上げます。

次号の予告(2014年3月ころ発行予定)

- ・平成24年度助成先事業成果のご報告
- ・こうべあいウォーク2014ご報告

「しみん基金・KOBÉ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円
団体会員 年間 10,000円

お申し込みは電話・FAX・メールなどで、
お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

<振込口座>

三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921
近畿労働金庫 神戸支店 普通 4161854
郵便振替 00990-5-157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」



◆ あ と が き ◆

今年は、なぜかアートに触れる機会の多かった秋でした。でも人はどうして、アートに惹かれるのでしょうか？それは、元々自分の中にある、見えない、又はことばにならない、内なる力、確かな存在を、感じる、又は気がつく手がかりを、アートが与えてくれるからではないか、と思っています。いろいろな困難な社会的な課題に直面しているけど、なかなかその答えを見出せない今の時代だからこそ、アートの果たすべき役割は大きいのではないかと思います。アートと社会をどうすればうまく繋げることができるのか、暗中模索の年の瀬です。(え)